

留 学 報 告 書

記入日:2022年1月28日

所属学部／研究科・学科／専攻	農学部食料環境政策学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: コロンビア大学 現地言語: Columbia University
留学期間	2021年9月～2021年12月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	School of Professional Studies <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年1月20日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬～12月中旬 2学期:1月中旬～5月上旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	30135
創立年	1754年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	\$29,696	3,415,040円	1セメスターの授業料で、大学の施設使用料など諸経費を全て含んだ金額です。
宿舍費	\$0	0円	叔父の自宅に滞在したため宿舍費はかかりませんでした。
食費	\$2,000	230,000円	チップを20%ほど支払う必要があるためかなり食費はかさみます。
図書費	\$200	23,000円	
学用品費	\$0	0円	
携帯・インターネット費	\$200	23,000円	T-mobileの通信・通話・SMS使い放題の定額プラン(\$50/月)に加入しました。
現地交通費	\$350	40,250円	NYの地下鉄運賃は目的地にかかわらず\$2.75でした。(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$1,500	172,500円	
被服費	\$350	40,250円	冬服をあまり持っていかなかったため現地のユニクロで買い足しました。
医療費	\$0	0円	
保険費		57,330円	形態:明治大学指定のプラン
渡航旅費		116,590円	往復料金です。
ビザ申請費		76,978円	I-20の申請費・輸送費などビザの申請に関わる全ての費用を合算した金額です。
雑費	\$500	57,500円	
その他		円	
その他		円	
合計	\$34,796	4,229,438円	1ドル=115円で計算。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:中部国際空港 目的地:John F. Kennedy International Airport 経由地:羽田空港, Frankfurt Airport(ドイツ)	
復路 出発地:Newark Liberty International Airport 目的地:成田国際空港 経由地:Los Angeles International Airport	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社:ルフトハンザ 料金:116,590 円(ただし新型コロナウイルスの影響で復路便が欠航)	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: _____ 料金: _____ 復路 航空会社:Singapore Airlines 料金:65,000 円 _____ ∴合計:126,590 円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Expedia) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: _____) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
叔父がニューヨークに在住していたため、直接コンタクトを取り、滞在させていただくようお願いをしました。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
明治大学から留学ができる School of Professional Studies の学生には学生寮が提供されなかったようです。そのため、コロンビア大学の Housing Portal サイトより自分でアパートメントやルームメイトを探す必要があります。1セメスターのみの留学の場合、住居探しはかなり難航するようです。詳しくは 2021 年度に総合数理学部から同じくコロンビア大学に留学をされた方の留学報告書をご参照ください。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
コロンビア大学から送られてくる Crime reports や在米日本大使館から送られてくる情報を参照していました。在留届を提出していれば、登録したメールアドレスに定期的に情報が届くようになります。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
通信状況は良好で問題なく繋がりました。大学内の Wifi も問題なく使用が可能でした。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
現地銀行口座(Chase)を開設し、日本のクレジットカードから引き出したドルをその口座に入れていました。銀行口座の開設は基本的には I-20 やパスポート、学生証と滞在先の住所があれば、短期滞在でも問題なく開設できます。	

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。 ほとんどのものは現地で手に入るため、特にこだわりがなければ最低限の持参品で間に合うと思います。
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
10 月ごろに明治大学からコロンビア大学に直接お支払いいただきました。Third-Party Billing という手続きが必要でした。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: 明治大学の最終学年・学期に在籍しており、単位認定が卒業までに間に合わないため。)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? 特にありませんでした。制限がある科目も教授とコンタクトをとったり、各種手続きを経たりすることで大体の科目は履修が可能である印象を受けました。	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
THIRD YEAR CHINESE N	3 年生中国語 N
科目設置学部・研究科	Department of East Asian Languages & Cultures
履修期間	Fall 2021
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 55 分が 4 回
担当教授	Zhirong Wang
授業内容	中国の英雄にまつわる歴史、中国の古事成語、哲学。
試験・課題など	まず、試験については「中間試験」と「最終発表」の2種類があります。「中間試験」に関しては2単元(約3週間)ごとに一度、実施されていました。計 4 回の中間試験を受験しました。試験形式は PC を教室に持ち込んで、先生の監視のもとポータルサイトにアップロードされた試験問題に回答するという形式です。 次に、課題に関しては、「授業の予習問題」、「教科書本文の音読の録音」、「作文」の3形式がありました。「授業の予習問題」については、次回授業で取り扱う内容を予習できるような問題が毎日、ポータルサイト上で課されます。「教科書本文の音読の録音」については、1 単元終わるごとにそこで取り扱った本文を音読し、TA の方の評価を受けます。発音に関して細かなアドバイスがあります。「作文」に関しては、1 単元終わるごとに教科書本文の内容に関連したトピックについて 200 単語以上のエッセイを書くことが求められます。
感想を自由記入	私はこの講義で驚いたことが 2 点あります。 第一に、欧米の学生が極めて流暢な中国語を喋っていた点です。私も中国語は 2 年学習していたため、大学 3 年生レベルとされているこの講義を受講しましたが、とても彼・彼女らのレベルに到達しているとは思えませんでした。私たち日本人と違い、漢字を知っているというアドバンテージがない中で、極めて高いレベルで中国語を運用していることに尊敬の念を覚えました。 第二に、先生が主に中国語を使用して授業を進行していた点です。私が明治大学で受講した中国語の授業は、日本語で文法や新しい単語に関する説明が多くあり、あまり中国語を聞いたり・話したりする機会がありませんでした。この講義では、新しい知識でさえ中国語で情報提供がなされ、なおかつそれに対して中国語で意見を述べるのが求められるためとても力がつきました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
STATISTICS FOR ECONOMICS	経済学のための統計学
科目設置学部・研究科	Barnard College
履修期間	Fall 2021
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Elham Saeidinezhad
授業内容	計量経済学を学習する上で必要となる基礎的な統計学に関する内容
試験・課題など	試験に関しては、教科書で大体6チャプター進む(約6週間)毎に1度、中間試験がありました。合計2回中間試験を受験しました。難易度については、日頃の授業を聞き、試験前に少し復習を行えば、8割～9割くらいの点数が取れるようになっていました。また、期末試験もあり、200分で50の大問題(計200問程度)に回答する形式でした。かなり多くの計算が求められるため、授業で取り扱った内容を完全に理解していないと、時間内に全ての問題に回答することすら難しいです。どちらの試験もポータルサイト上にアップロードされた問題にPCを使って回答する形式でしたが、中間試験は教室で先生の監視のもと受験をし、期末試験は各自指定の時間に自宅で受験をするという形が取られました。
感想を自由記入	この講義は学部2年生向けの授業ということもあり、取り扱っている内容の難易度は比較的やさしめでした(受講3科目の中で一番成績は良くありませんでしたが)。授業とは別に、TAの方が補習講義と分析ソフトウェアの使用方法に関する講義を実施してくださるため、非常にサポート体制の整った講義です。近年注目されているデータサイエンスの入門として良い講義であるため、こうした分野に関心がある方は受講してみるのもよいかもしれません。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Statistics, Data Analysis, and Coding for Sustainability Science	持続可能性科学のための統計学・データ分析・コーディング
科目設置学部・研究科	School of Professional Studies
履修期間	Fall 2021
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 110 分が 1 回
担当教授	James L. Davis
授業内容	持続可能性科学の分野で研究を行っていく上で必要となる数学の知識やプログラミングソフトウェアに関する講義。
試験・課題など	個人で取り組むプログラミング課題が2回課されました。また最終課題として5人1組のグループで取り組むプログラミング課題が課されました。期末試験や中間試験等はありませんでした。
感想を自由記入	修士1年生が受講する科目ということもあり、授業の内容・語学力の面で非常に苦勞した講義でした。大学院で研究を続けていく上で、統計学・統計処理ソフトウェアに関するレベルの高い講義を受講し、それなりの成績を収めることができた点は非常に自信になりました。また、最終課題ではグループで研究をどのように進めていくのかを疑似体験することができました。課題に対して私が悩んでいるときに、同グループの大学院の先輩が優しく手助けをしてくださり、私も彼・彼女らのような大学院生になりたいと強く感じました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
大学院 HP, 所属研究室の教授との相談など。
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
東京大学大学院農学生命科学研究科
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
国内の大学院に関しては, 特に外部の大学院に進学する場合, 情報収集と研究室訪問を通じたコネクションの形成が命です。大学院試験は分野にもよりますがある程度傾向が決まっており, 過去問の分析をしっかりと行えるかどうか鍵となります。志望先大学院がオフィシャルに過去問を提供している場合はそれをできるだけ早く手に入れましょう。提供されていない場合は, 進学を希望する研究室の教授にコンタクトをとり, その教授の指導学生から過去問を提供してもらったり, 入試の経験を共有してもらおうという形が一般的であるようです。明治大学の教授の方々は顔が広く, さまざまな大学院に知り合いの教授がいることも多いため, ゼミ活動がある学部に所属している方は「必ず」指導を受けている先生に相談してください。 また, 国内の大学院を受験する場合であっても英語のスコア提出が求められることが多いです。TOEIC, TOEFL-iBT, IELTS など使用可能なスコアは大学院によってまちまちです。この点については留学経験者のアドバンテージを享受することができるため, 自信を持ちましょう。留学終了後も英語学習を継続し, 費用が許す限り定期的に上述の試験を受験することで, 時間があるときに英語のスコアメイクは済ませておきましょう。良い点数が取れていれば, 海外大学院への進学も視野に入ってきます。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	留学を決意する。
2019年 1月～3月	中国・深圳大学での短期文化研修参加, HSK4級(中国語検定試験)合格。
4月～7月	TOEFL-iBT 77 点獲得。
8月～9月	TOEFL-iBT 84 点獲得。
10月～12月	国立台湾大学での協定留学に出願。
2020年 1月～3月	国立台湾大学での協定留学に内定。
4月～7月	国立台湾大学での協定留学を延期。
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がコロンビア大学を留学先として選んだ理由は大きく分けて2つあります。

まず、大学のレベルの高さです。2022年度QS世界大学ランキングでは世界19位という評価を受けています。私は、世界のトップオブトップとも言える大学の学生が果たしてどのような思考をしていて、学問に対してどのように向き合っているのか、こういったことに強い関心がありました。これらのことを自分と比較した際に、どのような点で自分より秀でているのか、また自分が勝っている点はどのようなところだろうかを追求したいと思い、コロンビア大学での留学に臨みました。2学年飛び級をしているような天才もいましたが、学生の大多数が圧倒的な努力量を裏付けとして、高い成績や輝かしいキャリアを実現しているのだと実感しました。

次に、コロンビア大学がニューヨークの中心部に位置しているという点です。種々雑多な人種・民族が集まり、しばしば人種のるつぼと表現されるニューヨークで、さまざまな文化に触れて自分の価値観をアップデートしたいという思いがありました。電車内で突然パフォーマンスが始まったり、かたや物乞いをするホームレスの方がいたり、鼻をツツと刺すマリファナの匂いが街中でしたり、と刺激に富んだ日々を過ごすことができました。

最後に、今後留学を志す皆さんには、世界の優秀な学生と活発に交流することで自分の可能性や視野を広げることが心掛けてほしいと思います。そうした優秀な学生がキラキラ輝いて見えたとしても、決して自分が劣っていると卑下する必要はありません。皆さんにも「キラリと光る何か」が必ずあります。それが何なのか、現地で多くの学生と関わる中で見つけ出してほしいと思います。また、あわせて留学先で「日本の良さ」を積極的に発信してほしいと思います。残念ながら、世界では日本人のプレゼンスが相対的に薄れてきています。皆さんが留学先で勉強に遊びに一生懸命取り組むことで、日本にはまだまだ気概に溢れる若者がいるということをアピールしてきてほしいと思います。大変なことも多いでしょうが、この経験が将来の糧となることを信じて頑張ってきてください。